

口腔病学会雑誌投稿規程 (第91巻第1号より適用)

2023年11月1日改定

- I. 本誌に発表する論文の筆頭著者は本会会員であり、その内容が本誌の目的に適し、他の雑誌に発表しないものに限る。ただし本会編集委員会が認めたものはこの限りでない。
- II. 本誌掲載の著作物の著作権はすべて本学会に帰属するものとする。
- III. 本誌の記事は次の種類に分けて掲載する。Review Article, Original Article, Case Report, Technical Report, 最近の歯学, 例会抄録, 学会講演抄録, その他。
- Review Article は編集委員会の依頼によるもので、原則として5,000字以内、図・表7点以内とする。掲載料は無料、別刷30部を贈呈する。Review Article は投稿によっても受け付ける。この場合、下記の Original Article と同様に投稿論文として査読を受け、掲載料と別刷費用がかかる。
 - Original Article, Case Report, Technical Report ならびに「その他」の掲載料、別刷の費用は有料(実費)とする。
 - 「最近の歯学」の欄は広く一般会員のために、最近の新しい臨床技法や薬品材料を紹介し、また各種の歯学関係の科学ニュースを提供するためのもので、通常学内各講座等に編集委員会より依頼する。各篇は表題を別にして、図・表を含めて1,600字以内(図・表も含めて刷り上がり1ページ)とし、掲載費用は全額無料、別刷費用は有料(実費)とする。内容は文章のみにならず、なるべく写真・図・表を入れる。
 - 「例会抄録」は、口腔病学会例会の講演後抄録である。抄録は800字以内とし、講演者に例会担当分野より依頼する。
 - 学会講演抄録は口腔病学会学術大会の講演後抄録である。講演者は必ず800字以内の抄録および内容を記録した Word ファイルを電子メールに添付して集会担当理事まで提出すること。
 - 「その他」は、Review Article, Original Article, Case Report, Technical Report のカテゴリーに分類されない内容とする。
- IV. 原稿の書き方
- 原稿は、和文または英文で記述されたものとする。Review Article, Original Article, Case Report, Technical Report は英文で記述されたものとする。英文論文の構成は、英文表紙→英文抄録→英文本文→和文要約とする。
 - 原稿は、A4縦長用紙を用い、横書きとする。和文の場合は1行32字、25行を1ページに収め、常用漢字を用い、口語体、新かなづかいで書くこと。英文の場合は10~12ポイント、ダブルスペースで印字すること。原稿用紙のフッターにページ番号を記載すること。
 - 表紙には、論文の種類、表題、著者名、所属を記載する。所属は、研究科・分野を記載すること。
- 英文表題は、冠詞・前置詞・接続詞以外の単語の頭文字は大文字とすること。
 - 著者名の姓について、新旧の姓を表記する場合にはどちらかの姓をカッコでくくること。欧文の表記はハイフンでつなぐこと。
例 佐藤(田中)花子
SATO-TANAKA Hanako
 - Review Article, Original Article, Case Report, Technical Report の場合には Abstract (250語以内)を各表紙の次のページに記載すること。Original Article の Abstract は Introduction, Materials and Methods, Results, Conclusion の順に簡潔に記載すること。Review Article, Case Report, Technical Report の Abstract の構成は自由とする。
 - Review Article, Original Article, Case Report, Technical Report には和文要約(600字以内)を記載すること。
 - Original Article の本文は、I. Introduction, II. Materials and Methods, III. Results, IV. Discussion, V. Conclusion, References の順に記載すること。Review Article の本文は自由形式とする。
 - Case Report の本文は、I. Introduction, II. Case summary, III. Discussion, IV. Conclusion, References の順に記載すること。
 - 英文論文は事前にネイティブスピーカー等による英文校正を受けること。査読後に論文を修正し、再提出する際も同様とする。
 - 数字はアラビア数字、欧文はすべて原綴で半角とする。
 - 図(写真)・表はすべて本文末にまとめて添付し、Figure 1や Table 1のように番号を記載する。
 - 図(写真)は横が8 cm または17 cm、縦が20 cm 以内に印刷されるので、文字を入れる場合は、縮小率を考慮すること。
 - カラー印刷を希望する場合には、投稿の際に申し出ること。
 - 単位は原則としてSI単位系に従う。
 - References は引用箇所引用順に番号をつけ(例:田中ら¹⁻³⁾、荒谷²³⁾)、本文の末尾に番号順にならべる。
 - References の記載法
 - 雑誌論文
著者名(全員). 論文表題. 雑誌名 発行年(西暦); 掲載巻: 通巻ページの始-終.
 - 単行本
著者名(全員). 単行本名. 巻. 版数. 出版社所在都市名: 出版社名; 発行年(西暦). 引用ページの始-終.
 - 分担執筆による単行本
分担執筆者名. 分担表題名. 編集(監修)者名. 単行本名. 巻. 版数. 出版社所在都市名: 出版社名; 発行年(西暦). 引用ページの始-終.

例 Shafer WG, Muhler JC. Effect of gonadectomy and sex hormones on the structure of the rat salivary glands. J Dent Res 1953 ; 32 : 262-268.
Thoma K. Oral Pathology. St. Louis : Mosby ; 1950. 123-128.

4) 論文掲載雑誌名の省略法は、原則として当該雑誌で規定されているものとする。

V. 倫理規程

1. ヒトを対象とした研究発表を行う場合にはヘルシンキ宣言を遵守し、被験者および患者からインフォームドコンセントを得ていること、また、所属機関の倫理委員会の承認を得た上で委員会名と承認番号を明記する。
2. 動物を対象とする研究の場合には、所属機関の審査委員会の承認を得た上で委員会名と承認番号を明記する。
3. 患者を対象とした場合は、臨床所見や写真などの資料および検体などに由来するデータの公表に際しては患者から使用の承諾を得ること。また、その際は資料などから個人が特定されることのないよう個人情報の保護を徹底すること。

VI. 利益相反 (COI)

1. 利益相反の有無について本文の末尾に記載する。利益相

反がない場合は「著者全員利益相反なし。」などと記載し、利益相反がある場合は該当事項を記載する。

VII. その他

1. 初稿投稿時には、原稿ファイル（表紙、抄録、本文、謝辞、文献、図説明文、図、表、和文要約の順にまとめた Word ファイル）を電子メールに添付して編集担当理事または幹事に提出する。画像ファイルは TIFF, JPEG で提出してもかまわない。添付するファイルのサイズは 10 MB 以下とし、これ以上の場合はファイル転送システムを使用すること。投稿票、著作権帰属承諾書は編集担当幹事に紙媒体またはスキャンデータで提出すること。
2. 論文が受理 (Accepted) された時は、最終原稿ファイル (Word ファイル) および画像ファイル (TIFF もしくは JPEG) を電子メールに添付またはファイル転送システムで提出すること。
3. 投稿論文の採否については、2名以上の査読 (Peer review) を経て、編集委員会で決定する。
4. 著者校正は原則として、初校において行う。校正は間違いを訂正する程度とし、原稿にない加筆や訂正をしないこと。

複写をご希望の方へ

口腔病学会では、複写複製に係る著作権を学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請ください。

Reprographic Reproduction outside Japan

The Stomatological Society, Japan authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permissions of these rights in the countries or regions outside Japan, please refer to the homepage of JAC (<http://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

口腔病学会雑誌編集委員会

- 委員長： 笛 木 賢 治 (咬合機能健康科学分野)
 委員： 相 田 潤 (健康推進歯学分野)
 猪 越 正 直 (高齢者歯科学分野)
 岩 本 勉 (小児歯科学・障害者歯科学分野)
 松 尾 浩一郎 (地域・福祉口腔機能管理学分野)
 幹 事： 駒 田 亘 (咬合機能健康科学分野)

(五十音順)

口腔病学会雑誌発行日

号	発行日
1	3月31日
2	7月31日
3	11月30日

投稿は随時受付